

協議会会議録

会議名称	令和2年度 第2回伊達市地域公共交通活性化協議会		
議 題	議事 報告第1号 令和2年度決算見込みについて 議案第1号 伊達市地域公共交通計画策定業務に係る中間報告 (1) 公共交通ワークショップについて (2) 公共交通アンケート調査について (3) 計画素案とりまとめの方向性について		
開催日時	令和3年3月24日 10:30~11:30		
場 所	市民活動センター多目的室1・2・3		
出席委員	大矢 悟 会長代理 高本克彦 委員、長澤直裕 委員、水上真明 委員、村上秀光 委員、 根本信二 委員代理、山中広徳 委員、岡部正純 委員、水井啓介 委員、 三角卓司 委員、紺野哲也 委員、矢内孝昌 委員、片川善明 委員、 中嶋 康 委員、有村幹治 委員、沖山典嗣 委員（計16名）		
	所管部課名	企画財政部企画課	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者人数	なし
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【協議会の概要】</p> <p>1. 開 会（事務局：企画課長）</p> <p>2. 議 事 報告第1号について事務局より説明（資料「令和2年度決算見込み」）</p> <p>【質疑・意見交換】 <input checked="" type="checkbox"/> なし</p> <p>議案第1号について事務局より説明（資料「公共交通ワークショップについて」、「公共交通アンケート調査」、「計画素案取りまとめの方向性について」）</p> <p>【質疑・意見交換】 <input checked="" type="checkbox"/> 委員 ワークショップの年齢構成はどのようなものだったのか。また、今後計画の内容を考える上で市内循環バスの路線図や利用状況の資料を提供してもらいたい。 ⇒ 参加者の年齢構成については、21歳から78歳まで、平均年齢は48歳となっている。基礎資料については、計画の策定に必要なものは随時お配りする。</p>			

■委員

愛のりタクシーの内容や状況について教えて欲しい。

⇒ 利用者数については近年減少傾向であり、平成 27 年には延べ 1 万 2 千人だったが、現在集計中の令和 2 年度では 1 万人を切る見込みである。減少した要因として、コロナの影響もあったと思われるが、高齢者の就労が進んだことが大きく関わっていると分析している。開始した平成 18 年当時は、60 歳定年だったが現在は 65 歳を超えて働く時代になっている。利用状況としては、市内全域でまんべんなく利用されており、今後もエリアは市内全域として進めて行く考えだが、大滝区については、これまでも導入の要望はあるものの、地理的に大きく離れているため導入は難しいと考えている。

■委員

人口が減少している中で会員数が減少することは当然であり、会員数を増やすことよりも移動の公平性を確保することが重要。今後計画をつくるうえでは、交通機関の役割分担や乗り換え地点の整理などを進めて行く必要がある。

■委員

M a a S のことが挙げられているが、内容は色々ある。基幹交通については J R やバスが役割を担っており、交通結節点の設定とそこからの支線をどうしていくかを計画では考えていく必要があるのではないか。

■委員

ワークショップの中で愛のりタクシーの拡充として、AI 技術を活用し効率的かつ運転手の負担を軽減するとあるが、どの程度の AI 技術を考えていたのか。また、ジャパントクシーの導入についても起債があるがどのような話だったのか。

⇒ イメージ的には効率的な配車を想定したものである。ジャパントクシーについては、導入に規制があるのか等の質問があったため、規制はないが費用的に多少高額である等の説明を行ったところである。

■委員

ジャパントクシーは当社としても導入できれば車いすの方や妊婦の方にも優良なサービスが提供できると考えているが、費用的に導入するのは難しいというのが現状である。

【議案の採決】

■議案第 1 号 承認

3. 閉 会